

# 事務局・図書館機能の強化に関する検討結果の骨子

—議会改革検討小委員会報告—（令和7年3月）

## 1 検討の経過

石田議長から議会運営委員会に対し行われた議会改革に関する諮問のうち、多様な主体からの知見を取り入れる仕組みづくりなど、議会の政策提案機能や監視機能等を強化し、その役割を発揮するための取組として、事務局・図書館機能の強化に関する検討を行った。

### ◆ 令和6年度議会改革検討小委員会の概要

- 1) 委員長 中村 正孝（自民）  
同委員 中島 武文（自民）、田島 祥充（自民）、古林 良崇（自民）、  
大澤 彰久（自民）、北川 剛司（維国）、酒井 常雄（維国）、  
光永 敦彦（共産）、森 吉治（共産）、岡本 和徳（府民）、  
増田 大輔（府民）、小鍛治義広（公明）、山口 勝（公明）
- 2) 設置・開催 議会運営委員会に令和6年5月24日に設置。  
事務局・図書館機能の強化に関しては、7回開催

## 2 検討結果

### (1) 体制及び課題

事務局・図書館機能の強化について検討した結果、事務局等の体制及び課題については次のとおりである。

#### ア 事務局等の体制の在り方について

他府県の議会事務局と比べても標準的な人員配置がなされており、現状は事務局・図書館ともに機能している。しかしながら、20代の若手職員の配属が多くなっている現状を踏まえると、サポート体制の質の充実と安定的にサポートする体制の確保が求められる。

また、広報広聴については、様々な取組がなされているが、SNSのフォロワー数が伸び悩んでいるなどの課題があり、戦略的な議会情報の発信、広報広聴の活動が必要である。

#### イ 現状の体制を踏まえ課題となる事項について

- ◆ 議会改革の検討、実践を的確にサポートする体制の充実
- ◆ 議会運営や委員会運営を安定的にサポートする体制の確保
- ◆ 議会情報発信、広報広聴機能の充実

## (2) 提言

現状の体制を踏まえた課題に対して、次のとおり提言する。

### ア 議会運営に精通した職員の育成に関する取組の実施

(取組例) 全職員を対象とした「議会運営の基本事項」などの研修

### イ 職員の質の向上と組織的対応力の強化に関する取組の実施

(取組例) ①運営係、調査係、政策法務係及び広報広聴係を対象としたレファレンス研修(府立図書館司書の講師派遣)、レファレンスの手引の作成等  
②府立図書館(蔵書130万冊)との連携強化による貸出機能の充実  
③他府県事例の調査・情報提供(議員提案条例等の情報収集、議員への提供)  
④執行部との関係強化  
〔 執行部職員対象：本会議・委員会制度説明会 〕  
〔 事務局職員対象：京都府主要施策説明会 〕

### ウ 広報広聴事業の強化に関する取組の実施

(取組例) ①出前高校生議会、おこしやす京都府議会、大学生との座談会等の既存事業の充実強化  
②HP、SNSを活用した効果的な情報発信